

(石塚さん) : 子どもさんはモチロン、周りの方達も知りたい！情報、そして「まちの魅力」・「ヒトの魅力」のご紹介いただけそうですね。最後まで、よろしくお願いします。

(石川) : お願いします！

(石塚さん) : それでは最初のコーナー「阪南ブランド十四匠認証企業」のご紹介です。

(石川) : 阪南市では、その昔、綿織物や瓦の生産が盛んだったと伝えられています。伝統的な地場産業として、今に受け継がれる繊維産業、それ以外にも、金属製造業、食品製造業など、モノづくりに関する産業が有名です。

また、現在の阪南市は、大きく4つの地区に分かれていますが、明治の大合併までは14の村が存在していました。

「阪南ブランド十四匠」は、モノづくりの心を大切にしながら、「技」を磨き、その「技」を伝承するため、阪南市商工会が中心となって打ち出した地域ブランドのことです。

(石塚さん) : 「十四」という数字に込められた意味は、そういうことでしたか。その「阪南ブランド十四匠」は、どのような活動をしているのですか。

(石川) : 業種は違いますが、「十四匠」に認証された企業同士が交流しながら、効果的な情報やノウハウを交換したり、コラボレーションするなど、阪南市全体の活性化につながる取組をしているそうです。

SDGsのゴールでいうと

9番「産業と技術革新の基礎をつくらう」

11番「住み続けられるまちづくりを」

12番「つくる責任つかう責任」

そして **17番「パートナーシップで目標を達成しよう」** に当てはまる感じですね。

(石塚さん) : はい。みなさん、お待たせしました。

「阪南ブランド十四匠」から、本日は「土工房轆轤（つちこうぼうろくろ）」

古野 幸治（ふるの ゆきはる）さん、古野 勢兒（ふるの せいじ）

さんにお越しいただきました。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

(古野さん父子) : お願いします。

<拍手>（全員で拍手します）

	説明したいこと
<p>Q1：事業所の紹介をお願いします。</p>	<p>(石塚さん)：早速ですが、「土工房轆轤（つちこぼうろくろ）」のご紹介をお願いします。</p> <p>【画像 1】工房の写真</p> <p>(古野さん)：工房のご紹介など ※アドリブをお願いします。</p> <p>いったん古野さん親子に戻る</p> <p>画像 1 工房の写真を再度流す</p> <p>(石塚さん)：こちらの画像は阪南市の工房ですね。 教室は、阪南、堺、奈良の学園前 3 か所で開いているとのことですが、それぞれの教室で特徴はありますか。</p> <p>(古野さん)：各教室の違いを簡単に述べてください。 ※アドリブをお願いします。</p> <p>(石塚さん)：勢児^{せいじ}さん、土工房轆轤^{つちこぼうろくろ}さんでは、お父さんと息子さんそれぞれに「色やテーマ」があるとお聞きしたのですが、本当ですか。</p>
<p>Q2：作品の特徴などを教えてください。</p> <p>実物をアップで映す</p>	<p>(古野さん)：それぞれの作風について、簡単に述べてください。 ※アドリブをお願いします。</p> <p>(石塚さん)：ありがとうございます。</p> <p>画像 2 作品の写真</p> <p>(石塚さん)：こちらの写真はお父さん幸治^{ゆきはる}さんの作品ですね。</p> <p>(古野さん)：画像で流れている作品を簡単に話してください。 ※アドリブをお願いします。</p> <p>(石塚さん)：そして、本日は、貴重な作品をお持ちいただきました。 みなさまに、ご紹介いただけますか。</p> <p>※当日作品お持ちいただきます。アップで映してください。</p> <p>※話している途中、適当なところで、古野さんに切り換えてください。</p> <p>(古野さん)：「瑠蒼釉^{るそうゆう}」の由来や作品への思いなど ※アドリブをお願いします。</p>

<p>Q3：最近のニュースについて</p>	<p>(石川)：5月の下旬、令和になって初めての国賓として来日したアメリカのトランプ大統領に、天皇陛下からの贈り物として ^{ふるのゆきはる}古野 ^{るそうゆうはち}幸治 さんの「瑠蒼釉鉢」が選ばれました。</p> <p>阪南市で活躍する方の作品が選ばれたことは、本当に嬉しいことです。広報はなん7月号、阪南市ウェブサイトでもご紹介していますので、ぜひ、ご覧ください。</p> <p>画像3 実際に贈られた作品の写真</p> <p>(石塚さん)：本当に美しい色の作品ですね。</p> <p>(古野さん)：天皇陛下から国賓への贈物として作品が選ばれた件など ※アドリブでお願いします。</p>
<p>Q4：どのような場所で作品を見ることができますか？</p>	<p>(石塚さん)：実際に、私たちも ^{ふるのゆきはる}古野 ^{るそうゆうはち}幸治 さんの作品を見ることができますか。</p> <p>画像4 市役所ロビーの様子</p> <p>(古野さん)：工房の見学の可否のこと。 阪南市役所1階ロビーの展示について ※アドリブでお願いします。</p> <p>(石塚さん)：市役所の展示は、1階ロビー入ってすぐの所でご覧いただけますので、みなさん、お気軽にお立ち寄りください。</p>
<p>Q5：ふるさと納税について</p>	<p>(石川)：古野さんの作品は、「阪南市ふるさと応援寄附金」の返礼品としても登録されています。 興味のある方は、ぜひ、市ウェブサイトなどで「ふるさと納税」と検索してみてください。</p> <p>(石塚さん)：本日は、阪南ブランド十四匠から ^{つちこうぼうろくろ}土工房 ^{ふるのゆきはる}轆轤 - 古野 ^{るそうゆうはち}幸治 さん、古野 ^{せいじ}勢児 さんにご出演いただきました。お二人とも、ありがとうございました。</p> <p>(古野さん父子)：ありがとうございました。</p>

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（全編） 1分30秒」（添付）
<https://www.youtube.com/watch?v=l2UY8IVzilw&t=15s>

コーナー名	
コーナー② <「子どもの生活改善について」 -約6分->	
<p>12:19</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石塚さん(司会) ・石川(ナビゲーター) ・井谷(市) <p>(学校教育課)</p>	<p>(石塚さん)：次のコーナーは、「学校教育課」からのお知らせです。</p> <p>(石川)：学校教育課の出演は、2月の第1回放送に続いて2回目です。再び「子どもの生活改善」についてお話しいただきます。SDGsのゴールでいうと、学校教育課の取組の多くは、4番「質の高い教育をみんなに」に当てはまりますが、この「生活改善」のテーマは、3番「すべての人に健康と福祉を」にもつながっています。</p> <p>(石塚さん)：第1回放送の時には、出演者の皆さんでポーズをとりましたね。</p> <p>(石川)：そうでしたね。今回はどんなことを話してくれるのでしょうか。それでは、学校教育課 井谷さん よろしくをお願いします。</p> <p>(井谷)：どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">説明したいこと</div> <p>(石塚さん)：早速ですが、今回の「生活改善」について、教えていただけますか。</p> <p>(井谷)：はい。今回の「Let's チャレンジ生活改善」は一日の時間の使い方、特に、スマートフォンやゲーム、メールやSNSの使用時間に注目してみました。</p> <p>(石塚さん)：ついつい、遅くまでスマホを触ってしまうこと、ありますよね。</p> <p>(井谷)：そこなんです！ 便利だから、友だちから連絡がくるから、ゲームが楽しいから、色々理由はありますよね。しかし、「ゲームやスマホに2時間も時間を使うと、他に何もできなくなるのではないか。」という思いから、今回の紙面を作成してみました。</p> <p>(石川)：なるほど。家に帰ってからだと、宿題もありますし、習い事もあったり・・・</p> <p>(井谷)：そうですね。また、睡眠時間も大切です。子どもたちの理想の睡眠時間は6歳から12歳までは「9～12時間」、13歳から18歳までは「8～10時間」と言われています。</p>

(石塚さん)：それだけの睡眠時間を確保するとなると、2時間もゲームやスマホを使うことはできないかと・・・

(井谷)：そうなんです。こちらを見て欲しいのですが・・・

画像1 時間の使い方

(井谷)：このような用紙を今回は掲載しているので、是非ご家族で話し合っ欲しいんです。例えば、こんなふうに・・・

画像2 時間の使い方(例)

(石塚さん)：ん～？これでも随分、睡眠時間が多いように思いますね。

(井谷)：大人の私達からすれば、理想的な睡眠時間ですけどね。
宿題の時間や宿題以外の勉強の時間、また習い事の時間も必要ですし、他にも読書の時間とか。

(石川)：(つっこみ加減で)そこは、ゲームの時間ではないんですね。

(井谷)：もちろん、「ゲームをしてはいけない！」というわけではないですよ。
でも、学校の先生が例えて作るとしたら、「そこは読書かな・・・」と。
ゲームの全てを否定しているわけではもちろんありません。そこから学べることもたくさんあると思いますしね。
ただ、「毎日どのようなことに時間を使っているのか。どんなふうに時間を使っていかなければいけないのか」を意識して欲しいのです。

(石塚さん)：睡眠は、時間だけでなく質も大事と聞いたことがあるんですが。

(井谷)：はい。昨年度の第3号では、学校薬剤師さんから「毎日決まった時間に寝て起きる」睡眠のリズムを保ち続けることの重要性や、寝る前のスマホやパソコンが、その後の寝つきに影響するというお話をいただいています。
今まで発行した「Let's チャレンジ生活改善」は、阪南市のウェブサイト、学校教育課にてご覧になることができます。
興味のある方は、是非、「学校教育課」を検索してみてください。

(石川)：大人の私達も、気をつけなければならないこともありますね。

(井谷)：ご家族で一緒に考えて、実行するのも、おもしろいと思います。

(石塚さん)：私もちょっと、やってみようと思います。また、生活改善のお話があれば、是非ご紹介をお願いします。
井谷さん、ほかに皆さんにお伝えいただくことはありますか。

(井谷)：はい、昨年度の第4号で、この「生活改善戦隊 みなぎるんジャー」というものを作りました。この戦隊は子どもたちの生活改善を進めるべく、日々活動をおこなっているんです。

しかし、子どもたちの周りにはその活動を邪魔する敵がいます。その敵キャラクターを子どもたちや保護者の皆さまなどに募集をしたところ、本当に多くのご応募をいただきました。

ありがとうございます！

そのキャラクター全てのご紹介は難しいですが、順次、「Let's チャレンジ生活改善」の紙面で発表していきますので、ぜひ、お楽しみにしてください。

(石川)：学校教育課では、そんなこともしていたんですね。次はどんなキャラクターが登場するのでしょうか。楽しみにしています。

(石塚さん)：学校教育課 井谷さん、本日はどうもありがとうございました。

(井谷)：では、最後にみなさん、一緒をお願いします。

“Let's チャレンジ！生活改善！”

(みんな)：オー！

(井谷)：ありがとうございました。

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名			
コーナー③ <「7月は社会を明るくする強調月間です」 -約 17分->			
<p>12:26</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石塚さん(司会) ・石川(ナビゲーター) ・平山(ひらやま)(市)(生活支援課) ・歌原(うたはら)(法務省和泉学園) <p>(準備するもの)</p> <p>啓発ポスター A3 2枚 出演者前に貼る オープニングから</p>	<p>(石塚さん)：それでは次に、「生活支援課」からのお知らせです。</p> <p>(石川)：今日は、生活支援課、法務省和泉学園の方にお越しいただき、「社会を明るくする運動」ほかについて、お話いただきます。</p> <p>(石塚さん)：福祉部生活支援課 平山(ヒラヤマ)さん、法務省 和泉学園 歌原(ウタハラ)さん、よろしくお願いします。</p> <p>(平山・歌原)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>(石塚さん)：平山さん、机の前に、かわいらしいペンギンのポスターがありますが、それは、何でしょうか？</p> <p>(平山)：はい。これは、社会を明るくする運動の啓発ポスターです。このペンギンは、更生ペンギンのホゴちゃんといいます。</p> <p>(石塚さん)：なるほど。皇帝ペンギンと更生ペンギンをかけているわけですね。(笑) それでは、生活支援課で行っている、「社会を明るくする運動」について、どのような運動なのか、教えていただけますか。</p> <p>(平山)：はい。「“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で69回目を迎えます。7月は、この社会を明るくする運動の強調月間になっています。</p> <p>この運動は、再犯防止と言う観点から、SDGsの17のゴールのうち、3番「全ての人に健康と福祉を」、4番「質の高い教育を」、8番「働きがいも経済成長も」、10番「人や国の不平等をなくそう」、16番「平和と公正をすべての人に」そして、17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当します。</p> <p>(石塚さん)：たくさんのゴールに当てはまっていますね。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	<p>(石塚さん)：平山さん、机の前に、かわいらしいペンギンのポスターがありますが、それは、何でしょうか？</p> <p>(平山)：はい。これは、社会を明るくする運動の啓発ポスターです。このペンギンは、更生ペンギンのホゴちゃんといいます。</p> <p>(石塚さん)：なるほど。皇帝ペンギンと更生ペンギンをかけているわけですね。(笑) それでは、生活支援課で行っている、「社会を明るくする運動」について、どのような運動なのか、教えていただけますか。</p> <p>(平山)：はい。「“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で69回目を迎えます。7月は、この社会を明るくする運動の強調月間になっています。</p> <p>この運動は、再犯防止と言う観点から、SDGsの17のゴールのうち、3番「全ての人に健康と福祉を」、4番「質の高い教育を」、8番「働きがいも経済成長も」、10番「人や国の不平等をなくそう」、16番「平和と公正をすべての人に」そして、17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当します。</p> <p>(石塚さん)：たくさんのゴールに当てはまっていますね。</p>
説明したいこと			
<p>(石塚さん)：平山さん、机の前に、かわいらしいペンギンのポスターがありますが、それは、何でしょうか？</p> <p>(平山)：はい。これは、社会を明るくする運動の啓発ポスターです。このペンギンは、更生ペンギンのホゴちゃんといいます。</p> <p>(石塚さん)：なるほど。皇帝ペンギンと更生ペンギンをかけているわけですね。(笑) それでは、生活支援課で行っている、「社会を明るくする運動」について、どのような運動なのか、教えていただけますか。</p> <p>(平山)：はい。「“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で69回目を迎えます。7月は、この社会を明るくする運動の強調月間になっています。</p> <p>この運動は、再犯防止と言う観点から、SDGsの17のゴールのうち、3番「全ての人に健康と福祉を」、4番「質の高い教育を」、8番「働きがいも経済成長も」、10番「人や国の不平等をなくそう」、16番「平和と公正をすべての人に」そして、17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当します。</p> <p>(石塚さん)：たくさんのゴールに当てはまっていますね。</p>			

ところで、69回目を迎えられるということですが、この運動が起きたきっかけは、どのような経緯だったのでしょうか？

(平山)：はい。昭和24年7月1日、更生保護制度の新しいスタートである「犯罪者予防更生法」が施行されました。

「社会を明るくする運動」は、戦後の荒廃した中であって、かねてから街にあふれた子どもたちの将来を危惧していた東京・銀座の商店街の有志が、この法律の思想に共鳴し、自発的に「犯罪者予防更生法実施記念フェア」を開催したことが発端となり、街頭宣伝活動などの啓発活動が、全国的に実施されるようになりました。

こうした取組が、生活に余裕のない人々の、不幸な少年に対する思いやりや、愛の心を呼び戻し、殺伐とした世の中に、明るい光をともしたとされています。

さらに、昭和26年、**犯罪の防止と犯罪をした人たちの立ち直りには、一般市民の理解と協力が不可欠**であるという認識を深めた、当時の法務府（現在の法務省）が、この啓発活動を将来とも継続して一層発展させる必要があるとして、“社会を明るくする運動”と名付け、国民運動として世に広がっていきました。

(石塚さん)：なるほど。そのような経緯があったわけですね。

では、阪南市では、具体的にどのような運動をされるのですか。

画像 1 啓発活動キャラクター 開始

(平山)：はい。今年は、去る7月4日木曜日に、阪南支部保護司会、更生保護女性会、そして阪南市が合同で、街頭啓発活動を行いました。駅前で啓発ティッシュを配布、市内のスーパーマーケットの店頭では、本市のイメージキャラクター「はなてい」と、社会を明るくする運動のマスコットキャラクターの「アカルイーネ」と一緒に啓発活動としてティッシュを配りました。

画像 1 啓発活動キャラクター 終了

画像 2 講演会 開始

(平山)：また、昨年に引き続き、和泉学園さんから、「社会を明るくする運動」に関する講演をしていただきました。

今年のテーマは、「最近の非行少年の特徴について」

講師として、和泉学園長と心理技官にお越しいただき、サラダホールの小ホールで開催しました。

画像 2 講演会 終了

(石塚さん)：阪南市の「はなてい」と、社会を明るくする運動の「アカルイーネ」が一緒に啓発活動をするわけですね。キャラクターが2体もいると目立ちますよね。

ところで、先ほど、保護司会や更生保護女性会といった名称ができて

ましたが、どのような団体なのですか。

(平山) : はい。まず、保護司会とは、大きく分けると、2つの活動を主に活動されています。1つめは、罪を犯した人たちなどの立ち直りを支援する活動として、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを助けるための、見守り、指導、相談支援等を行っています。また、家族や働く場所など、刑務所や少年院にいる人が帰ってくる場所の生活環境の調整活動を行っています。2つめは、地域における犯罪や非行を防止する活動として、啓発活動や更生保護に対する地域の協力者の確保について取り組まれています。

更生保護女性会とは、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力することを目的とする団体です。

(石塚さん) : 社会復帰へ向けての大きな役割を担われている、そういった活動をされている団体なのですね。ちなみに、阪南市では何名ぐらいの方が活動されているのでしょうか？

(平山) : はい。阪南市の保護司の方は名誉会員含めまして31人で、更生保護女性会は60人の方に活動いただいています。

(石塚さん) : たくさんの方が活動されているんですね。

本日は、法務省和泉学園の歌原さんにも、お越しいただきました。歌原さん、和泉学園とは、どのような施設なのでしょう？

(歌原) : はい。本施設は、阪南市の貝掛地区にあります第1種少年院です。

和泉学園と泉南学寮の2つの施設があります。

和泉学園では、収容期間は2年以内で、おおむね12歳から17歳6か月未満の人のお世話をしています。入院から出院までは、最初に基本的な生活の仕方を理解し、決まりを守って生活する心構えを身につけ、次に、問題性等に目を向けるとともに改善に向けた意欲を喚起し、自発的に取り組めることを身につけ、最終的に、自主、自立及び協同の精神の かん養と円滑な社会復帰をめざします。

泉南学寮では、収容期間は6か月以内で、おおむね14歳以上17歳未満の人のお世話をしています。入院から出院までは、基本的な生活の仕方を理解するとともに、非行の原因や自己の問題点に気づき、前向きに生活する意欲を持たせ、次に、非行に関わる問題点の改善に取り組み自己等勢力を身につけ、思いやりと協調性を育ませ、課業に意欲的に取り組めるようにし、最終的に、残された問題点を改善するとともに、自主・自立的な生活態度を養い、出院後の就労、修学に向けた生活設計を具体化させます。

さらに、これらの施設にて、生活指導、職業指導、教科指導、体育指導及び特別活動指導を通じて、少年たちの社会復帰支援をおこなっています。

(石塚さん) : なるほど。少年たちの更生をおこなっているわけですね。

(歌原)：はい。中には、在院中に高等学校卒業程度認定試験に合格する人や、ワープロ検定や危険物取扱者（乙4）などの、資格を取得する人もいます。

(石塚さん)：社会に出たら、先に進もうと、頑張っているんですね。

(石川)：地区の人たちは、身近にいる子どもたちと同じように、彼等のことも見守ってくれています。地域の人に見守られている、支えられている、地域とのつながりを感じながら生活していることも大切になりますね。

(歌原)：そうですね。在院生は社会復帰に向けて、みんな頑張っていますので、みなさんのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(石塚さん)：はい。是非とも、みなさんのご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

ところで、歌原さん、犯罪の件数はどうなっているのでしょうか？

画像3 全国の件数 開始

(歌原)：はい。現在、我が国の犯罪の件数自体は激減しており、刑法犯認知件数は、平成14年に、戦後最悪の285万件でしたが、平成30年には戦後最少の約82万件まで激減しています。凶悪犯罪についても同様に減少してきています。また、青少年の刑法犯数についても、平成30年には、平成26年の約5万件から約半分となる約2万7000件まで減少しています。多くの事件は、再犯者によるものであり、約3割の再犯者が6割の犯罪をおこなっていたことが、犯罪統計のデータによって判明しています。

犯罪や非行をした人には、安定した仕事や住居がない、高齢である、障がいや依存症がある、十分な教育を受けていないなど、円滑な社会復帰への支援を必要とする人が多いのも実情です。

安定した生活環境や必要な支援の確保を図るためにも、こういった課題を解決し、再犯防止に努めていかねばなりません。

そこで、国としては、地方公共団体や保護司会や更生保護女性会といった団体と連携しながら、再犯の防止に努めているところです。

画像3 全国の件数 終了

画像4 認知件数 開始

(平山)：阪南市における件数については、大阪府警発表の市区町村別犯罪認知件数では、平成21年では771件発生していましたが、平成30年度には約半減となる342件まで激減しています。

画像4 認知件数 終了

(石塚さん)：犯罪件数自体は減少といいますか、激減しているんですね。再犯防止には、数々のハードルがあることも理解できました。

件数そのものは減少しているけれども、約3割の再犯者が6割の犯罪を起こしているということですが、阪南市として、再犯防止に関

して、何か取り組まれていますか。

(平山)：はい。「社会を明るくする運動」の啓発活動のほか、本市に和泉学園さんがあるご縁で、全国矯正施設所在自治体会議に参画しています。この会議を通じて、再犯防止施策等を推進していくとともに、相互に有益な情報交換、調査研究、国や都道府県に対する提言や要望をおこなっていくと考えています。

今後におきましても、保護司会、更生保護女性会、和泉学園さんなど関係機関と連携を図り、社会を明るくする運動も含め、再犯防止の対策に取り組んでまいりますので、みなさんのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

(石塚さん)：保護司会、更生保護女性会、行政などの各団体の連携で、社会を明るくしていただけたらと思います。

(石塚さん)：本日は、生活支援課 平山さん、法務省 和泉学園 歌原さん、ありがとうございました。

(平山・歌原)：ありがとうございました。

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

コーナー名	
<p>コーナー④ <泉南地域の図書館や図書室が利用できます & 公民館を利用しよう！ -約 15 分-></p>	
<p>12:45</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石塚さん(司会) ・石川(ナビゲーター) ・加藤(図書館) ・熊本 (西鳥取公民館) 	<p>(石塚さん)：もうすぐ夏休みがやってきます。 次のコーナーは、「図書館」と「公民館」から、子どもさんだけではなく、市民の皆さんにも耳寄りな情報をお届けいただきます。</p> <p>(石川)：阪南市の図書館はサラダホールの中にあり、全国的に見ても、非常によく利用されている図書館です。阪南 TV への登場は2回目となります。</p> <p>そして、南海線鳥取ノ荘駅のすぐ近く「西鳥取公民館」の特色ある取組についてご案内です。</p> <p>(石塚さん)：阪南市立図書館の加藤靖子館長、そして、西鳥取公民館の熊本将館長にお越しいただいています。よろしくをお願いします。</p> <p>(加藤・熊本)：よろしくをお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(石塚さん)：加藤さん、今年の6月1日から、阪南市民の方が、阪南市以外の図書館を利用できるようになったと聞きましたが、どのような内容か、教えていただけますか。</p> <p>(加藤)：はい。泉南地域の五市三町、岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・田尻町・熊取町・岬町が協定書を交わし、相互に利用できるようになりました。 この制度は、SDGsの17のゴールのうち 17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当します。</p> <p>貸出券をそれぞれの図書館で発行してもらうことにより、利用が可能となります。貸出の冊数や期間等の利用条件は図書館により異なりますので、それぞれの図書館に問い合わせてください。 また、借りた資料は、必ず借りた図書館に返してください。</p> <p>(石塚)：これまでは、阪南市立図書館をとおして他の図書館の本を借りる方法もあったようですが、そのシステムはなくなるのですか。</p> <p>(加藤)：なくなるわけではありません。借りたい本が決まっている方、阪南市外</p> </div>

の図書館まで行くのが難しい方、本を取り寄せる時間をお待ちいただける方は、図書館をとおしての貸出をご利用ください。

(石塚さん)：1番のセールスポイントはどこですか。

(加藤)：水曜日は阪南市立図書館の休館日なので、ご利用いただけなかったのですが、相互利用できるようになった図書館は開館していますので、お急ぎの方や水曜日がお休みの方には朗報ではないかと考えています。

(石塚さん)：利用条件は、市民の方と市民以外の方で違いがあるのですか。

(加藤)：はい。「阪南市内にお住まいの方、または市内に通勤・通学されている方」については、2週間で読めるだけの本とCDは3点までを借りることができます。予約もカウンターでは1日7点まで、インターネットや館内のコンピュータでは50冊まで可能です。

一方、「それ以外の方」は、貸出期間は同じ2週間ですが、冊数が本は5冊とCDは3点までの利用となります。また、予約やリクエストは受け付けていません。

ただし、雑誌スポンサーになっていただければ、同じ条件でサービスを受けることができます。

(石塚さん)：どうすれば雑誌スポンサーになれるですか。

(加藤)：こちらで指定する雑誌の年間購読料を支払っていただくことにより、その年度は「阪南市内にお住まいの方、または市内に通勤・通学されている方」と同じサービスを受けられる貸出券を発行します。

(石塚さん)：より手厚いサービスを希望する場合は、そんな方法もあるのですね。ありがとうございました。

さて、図書館の入り口のコーナーは、毎月いろいろな展示をされているようですね。

(加藤)：はい、毎月、図書館職員が工夫を凝らして、利用者みなさんに関心を持っていただけるようなテーマを設定し、それに沿った本を並べています。7月はSDGs、8月は戦争がテーマです。ふだん借りないような本も、手に取ってみてもらえるように、こんな本もあったのかと気づいてもらえるように、手を変え品を変え、展開しています。

画像 1 特集コーナー

(石川)：私も、毎月、特集コーナーの展示が変わるのを楽しみにしています。7月は「SDGsについて」とりあげていますが、どのような本が並ん

でいますか。

(加藤) : SDGs とは何かにはじめて、17のゴールそれぞれについての本がたくさんあります。7月は、特集コーナーに17のゴールに関する本を見本市のように並べています。ジェンダーに関する本であったり、エネルギーに関する本であったり、様々な本がありますので、そこからSDGsに興味をもていただくのもありだと思います。是非、夏休みは図書館へお越しください。

(石塚さん) : SDGsには、いろいろなテーマが含まれていて、案外身近なものだと知ってもらえそうですね。

(加藤) : SDGsも含めて、疑問に思ったこと、もっと詳しく知りたいことがあればどうぞ図書館をご利用ください。もちろん目的がなくても大歓迎です。

(石塚さん) : 夏休みに向けてイベントがあるとうかがいましたが。

(加藤) : 定例の行事で、毎週土曜日の午後2時から、絵本やおはなしが楽しめるおはなし会があります。第1、3、4の日曜日は、午後2時から紙芝居があります。

画像2 先生おはなし会 開始

そして、夏休みの特別企画として、阪南市内の小中学校に勤めている先生のおはなし会があります。

先生になって2年目の先生たちが、毎年、図書館で2日間研修されるのですが、研修の中で、おはなし会を担当してもらっています。今年は、12人の先生方が来られます。

画像2 先生おはなし会 終了

(石塚さん) : 小中学校の先生が市立図書館で、絵本の読み聞かせをされるわけですね。学校とは違った、意外な一面を見られるチャンスかもしれませんね。
ありがとうございます。

(石川) : 石塚さん、公民館からも、いろんな情報をご紹介いただけるようですよ。

(石塚さん) : そうでした！石川さん、阪南市の「公民館」について教えてください。

(石川) : 「公民館」は、市民の方が「つどい」、様々な学習・体験を通し「まなび」、いろいろな人との出会い「むすび」がある社会教育施設です。阪南市には、尾崎公民館、東鳥取公民館、西鳥取公民館の三つの公民館があり、それぞれに特色があります。

5月の第4回放送では、東鳥取公民館の「日本語クラブ」をご紹介しました。今回は、西鳥取公民館からのご案内です。

説明したいこと

(石塚さん)：熊本さん、西鳥取公民館では、子育てサークルの活動が盛んだということですが、どのような内容か、教えていただけますか。

(熊本)：はい。西鳥取公民館では、子育て育成事業として、ネットワーク化した5つのサークルを中心に、子育てに悩む保護者や子どもが定期的集まり、親子の共通する悩み等を自由に話し合える場を作ることで、仲間づくりとふれあいの輪を広げています。

この子育て育成事業は、NPO 法人「子ども NPO はらっば」との共催で行っており、SDGsの17のゴールのうち

17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当します。

(石塚さん)：もう少し詳しく教えていただけますか。

画像3 子育てサークル 開始

(熊本)：はい。マタニティと2歳児までの親子を対象とした「たまひよっち」、「屋根のある公園」と称して親子の遊びの場を提供する「キティママ」、未就園児の親子を対象とした「さくらんぼ」、小学生の子どもを持つ親の会「つくしんぼ」、そして入園までの幼児期の遊び体験の場「でんでんむし」の5つのサークルがあります。活動日はそれぞれのサークルで決まっていますが、時間はいずれも午前10時から12時までの活動となっています。また、ふだんの活動に加え、学びたいことを学ぶ講座として「子育てと自分育てを楽しむ講座」を年4回開催したり、「おやこ体操」「わらべうた」「人形劇鑑賞」「陶芸教室」といった親子の体験事業を毎年実施しています。

画像3 子育てサークル 終了

(石塚さん)：他にも子育てに関する取組や事業はありますか。

(熊本)：公民館の主要イベントの一つとして、子ども向けの公民館まつり「おやこカーニバル」を、毎年10月の最終日曜日に開催しています。乳幼児と保護者の方を対象とした「まほうのおばさんのおはなしかご」で、絵本の読み聞かせ等を行っています。

(石川)：西鳥取公民館は、玄関ホールのところにお知らせやチラシがたくさん並んでいますよね。子どもや子育て中に限らず、幅広い世代の方に楽しんでもらえそうな企画が見つかるかも知れません。
熊本さん、チラシなどは自由にお持ち帰りいただけるんですよね。

(熊本) : はい、みなさん、どの「公民館」もお気軽にお立ち寄りください。

(石塚さん) : そうなんですね。ところで、夏休みに向けて、何かイベントや取組
がありますか。

(熊本) : はい。7月20日(土)から9月1日(日)までの期間、学習室を開放
します。これは市内3公民館での取組で、西鳥取公民館ではボランティア
室を学習室として開放します。

利用できる時間は、月曜と祝日を除く開館日の午前9時から午後10
時まで、日曜日のみ午前9時から午後5時までです。なお、中学生以
下の子どもたちの利用は、曜日を問わず午後5時までとしています。

学生だけでなく、社会人の方もぜひ、ご利用ください。

月曜・祝日は休館日となっていますので、お気をつけください。

(石塚) : 学習室ですが、夏休み以外でも利用できるとお聞きしましたが。

(熊本) : はい。学習室の開放は、昨年までは夏休み期間中のみ行っていましたが、
今年の4月から、3公民館ともに一年を通して行うことになりました。
利用できる時間は、夏休み期間とは異なります。

平日が午後5時から10時まで、土曜日が午前9時から午後10時
まで、日曜日は午前9時から午後5時までです。なお、中学生以下の利
用は、土曜日と日曜日の午前9時から午後5時までです。

ただし、当日の空き状況により、ご利用できない場合がありますので、
事前に利用したい公民館に電話でお問い合わせください。

(石塚さん) : なるほど。冒頭の紹介にもありましたが、公民館では市民の方が
「つどい」「まなび」「むすぶ」ための、様々な取組や事業をお
こなっているのですね。

(熊本) : 公民館では、SDGsの17のゴールのうち、

3番「すべての人に健康と福祉を」、

4番「質の高い教育をみんなに」、

11番「住み続けられるまちづくりを」、

17番「パートナーシップで目標を達成しよう」の4つを目標とし、

市民の方々に快適にご利用いただける施設をめざし、様々な取組や事
業を行っています。是非、公民館をお気軽にご利用ください。

(石川) : 家では気が散って勉強がはかどらない、いつもとは気分を変えて学びたい、
空き時間に宿題したい、そんなときに公民館の学習室を利用するのもいい
ですね。

ところで、加藤館長、自習室についての問合せが多いそうですね。

(加藤)：はい。図書館の本を使用しての学習については大歓迎ですが、机の数が限られているため、ご自分の資料を持ち込んでの自習や受験勉強等をご遠慮いただいています。代わりに、公民館などの学習室をご案内しています。夏休み期間限定とはなりますが、サラダホール内にも自習室を開放します。

画像 4 図書館掲示（自習室）開始

(石川)：こちらは、夏休み限定のスケジュールですか。

(加藤)：そうですね。夏休み期間中は、自習室の利用時間がいつもと変わりますので、図書館では、毎年、このような掲示でご案内しています。詳しいことは、広報はんなんやウェブサイトでご確認いただくか、各施設へ直接お問い合わせください。

画像 4 図書館掲示（自習室）終了

(石塚さん)：夏休み前に、図書館と西鳥取公民館から、いろいろな情報をお届けいただきました。

公民館や泉南地域の図書館へ出かけて、涼しみながら楽しく過ごしてみてください。

阪南市立図書館長の加藤さん、そして、西鳥取公民館長の熊本さん、ありがとうございました。

(加藤・熊本)：ありがとうございました。

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名					
コーナー⑤<7/20（土）病院体験！アンビリバボーin 阪南市民病院 2019 -約 10分->					
13:02 出演) ・石塚さん(司会) ・石川(ナビゲーター) ・藤田 (健康増進課)	<p>(石川)：次のコーナーは、何やら気になるネーミングですね・・・ ご紹介いただくのは、健康増進課の藤田さんです。</p> <p>(藤田)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <p>(石塚さん)：今回ご紹介していただくのは、病院体験のイベントということですが、まず阪南市民病院について少し教えていただけますか。</p> <p>(藤田)：はい。阪南市民病院は、平成23年4月から社会医療法人生長会が指定管理者制度による病院運営を行っていきまして、今年で9年目となります。現在は、小児医療や救急医療など、公立病院として担っていかないといけない分野をはじめとして、内科や整形外科など23の診療科を標榜しています。</p> <p>(石塚さん)：阪南市民の方だけでなく、お隣の泉南市や岬町の方も診察にいられているみたいですし、医療の分野で泉州南部地域の安全・安心を支えてくれているということですね。</p> <p>(藤田)：そうですね。SDGsのゴールでいうと、 3番「すべての人に健康と福祉を」、 4番「質の高い教育をみんなに」、 11番「住み続けられるまちづくりを」にあてはまります。</p> <p>(石塚さん)：それでは、本題の「病院体験イベント」について教えてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 実物 ポスターを手にとって。(A3) 画像 1 ポスター-PDF (表) </td> </tr> <tr> <td> (藤田)：7月20日の土曜日、今週の土曜日ですね。阪南市民病院で10時から16時まで「病院体験アンビリバボー in 阪南市民病院 2019」を開催します。入場無料で、事前申し込みも不要です。小さなお子様から大人まで楽しめるイベントとなっています。 </td> </tr> <tr> <td> (石塚さん)：イベントタイトルが「病院体験アンビリバボー」って、面白いネーミングですよ。これはどんな意味がありますか。 </td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	実物 ポスターを手にとって。(A3) 画像 1 ポスター-PDF (表)	(藤田)：7月20日の土曜日、今週の土曜日ですね。阪南市民病院で10時から16時まで「病院体験アンビリバボー in 阪南市民病院 2019」を開催します。入場無料で、事前申し込みも不要です。小さなお子様から大人まで楽しめるイベントとなっています。	(石塚さん)：イベントタイトルが「病院体験アンビリバボー」って、面白いネーミングですよ。これはどんな意味がありますか。
説明したいこと					
実物 ポスターを手にとって。(A3) 画像 1 ポスター-PDF (表)					
(藤田)：7月20日の土曜日、今週の土曜日ですね。阪南市民病院で10時から16時まで「病院体験アンビリバボー in 阪南市民病院 2019」を開催します。入場無料で、事前申し込みも不要です。小さなお子様から大人まで楽しめるイベントとなっています。					
(石塚さん)：イベントタイトルが「病院体験アンビリバボー」って、面白いネーミングですよ。これはどんな意味がありますか。					
(準備するもの) ポスターA3 ※いずれも表面 持つ 1枚 貼る 2枚 オープニングから					

(藤田) : はい。阪南市民病院では、毎年5月に血管年齢や血圧、脈拍などを測定するコーナーや健康講座など、市民病院の患者様だけでなく、多くのみなさんに市民病院を知っていただくという目的で「健康フェア」を開催しています。

(石川) : 4月の阪南TVでご案内いただいた「健康フェア」ですね。

(藤田) : はい。「健康フェア」も今年で9回目の開催だったのですが、イベントがどちらかというと大人の方の方向けの内容となっていますので、ご参加いただいている方の多くはご年配の方となっていました。

そこで、日頃は病院にあまり行かない小中学生のお子さんにも、病院の様々な業務を体験していただくことで、少しでも病院に興味を持ってもらいたいという思いから、昨年からのイベントを開催しています。

また、小中学生のみなさんが参加してもらいやすい夏休み期間中に開催したり、ネーミングも小中学生のお子様が見えやすく、親しみのあるものにして、少しでも多くの方に参加いただければと、病院の職員のみなさんが知恵を絞って、出来た名前が「病院体験アンビリバボー」なんです。

(石川) : そうですか。とてもキャッチーなネーミングですもんね。ちなみに、去年は初めての開催ということですが、どんな状況でしたか。

(藤田) : はい。昨年は、炎天下にもかかわらず、お子さんが517名、大人の方が312名の合計829名の方にご来場いただきました。

また、お帰りの際に行ったアンケートでは、約98%の方が「楽しかった」と回答していただき、たいへんご好評をいただきました。

でも実は、初の開催ということで、病院スタッフも手探り状態からこの企画を立ちあげ、イベント当日も少し緊張していたのですが、参加してくれたお子さんが病院の仕事に興味を持ってイベントを楽しんでくれている姿に励まされ、スタッフにとっても思い出深い一日となりました。

(石塚さん) : そうですか。たくさんのお子さんやご家族の方が来られたんですね。私も今年のチラシを見ましたが、本当にたくさん体験イベントがあって、中には、ふだんは体験できないようなイベントもあるみたいですね。

全部のイベントについてご紹介していただきたいのですが、放送時間が限られていますので、去年も人気だったイベントや、これはおススメですよ、というようなイベントをいくつかピックアップして説明していただけますか。

画像2 ポスターPDF (裏)

(藤田) : はい。去年の人気と言いますと、やはり女の子に人気の職業でもある看護師を体験できる『ナースのお仕事』でしょうか。今年も、本物の聴診器と血圧計を使ってナースのお仕事を体験していただけます。その際には、ナースのユニフォームを着ての写真撮影もご用意しています。

また、昨年好評だった『救急車で来たらどうなるの?』が、今年は『救急車で記念撮影&人命救助体験!』の二本立てにパワーアップしています。皆さんがふだん乗ることのない救急車の中を大公開します。

看護師以外の職業では、最近テレビドラマにもなりましたが、放射線技師をテーマにした『放射線を知ってもらおう!』や、理学療法士をテーマにした『リハビリってどんなお仕事?』などがあります。

さらに、今年初開催のイベントが3つあります。

1つ目は、病院事務員の『入院案内やってみよう!』、2つ目は、大阪府社会福祉協議会による『体験から学ぶ、高齢者ケア』、3つ目は、お母様方にも興味を持っていただけそうな『あわあわ体験-すべすべお肌の作り方-』です。昨年度も開催したイベントも合わせると、今年は全部で18のイベントを展開する予定です。

(石塚さん) : 話を聞いているだけで何かワクワクしてきますし、中学生や高校生の方には、自分の将来を考えるときの参考になるんじゃないかな、と思いますね。

病院には、お医者さんをはじめ、看護師や薬剤師など様々な職種の方が働いていて、実際にはどんな仕事をしているのかって、わかりづらいところもあると思います。このイベントは若い方達に、楽しみながらいろいろな体験をしてもらえる企画になっているんですね。

(藤田) : はい。中学2年生になったら学校から職業体験ということで、実際に会社やお店などで働くという機会がありますが、イベントを通じて小学生の方にも病院の仕事を体験してもらえたらと思っています。

病院体験を通して、皆さんに色々知り、学び、考えてもらえるところは、SDGsの4番「質の高い教育をみんなに」のゴールにつながります。

(石川) : イベント開催が7月20日ということで、ちょうど学校も夏休みになって参加しやすい時期ですよ。

(藤田) : そうですね。多くの方にご参加いただいて、阪南市民病院のことも知ってもらえるとうれしいです。是非、お友達やご家族の方々と一緒に夏休みの思い出づくりに来てください。お待ちしております。

(石塚さん) : たくさんの体験イベントがありますが、いくつも体験すると結構時間もかかりますよね。

(藤田)：はい。イベントは16時終了予定ですが、体験する時間の都合で、受付は15時までとなっています。お越しの際は、ご注意ください。

(石川)：そうですか。今年もたくさんの方に興味を持って、参加していただけるといいですね。みなさん、時間には余裕をもって、気をつけて来ていただければと思います。

(石塚さん)：健康増進課の藤田さん、本日はありがとうございました。

(藤田)：ありがとうございました。

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

コーナー名			
<p>★イベントのご案内★ <全日本ビーチバレージュニア男子選手権について-約6分-> <FC大阪コラボイベント 8/4(日)「海を守ろう × サッカー教室」-約4分-></p>			
<p>13:14-13:24</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(司会) ・石川(ナビゲーター) ・紺谷 (まちの活力創造課) ・奥田 (行政経営室) <p>(準備するもの)</p> <p>ポスター 大 貼る 2枚 1枚は司会者前 オープニングから</p>	<p>(石塚さん)：石川さん、今回もたくさんの「魅力」をご紹介いただきました。</p> <p>(石川)：はい。まだまだ続きますよ！ 阪南市の夏といえば、海。海といえば、ぴちぴちビーチ。 今年も箱作のぴちぴちビーチで「全日本ビーチバレージュニア男子選手権」が開催されます。 そして、FC大阪さんのコラボイベントのご案内もあります。</p> <p>(石塚さん)：まちの活力創造課の紺谷さん、行政経営室の奥田さんにお越しいただきました。どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p>(紺谷・奥田)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>(石塚さん)：紺谷さん、「全日本ビーチバレージュニア男子選手権」とは、どのような大会ですか。</p> <p>画像 1 大会の様子 (1)</p> <p>画像 2 大会の様子 (2)</p> <p>(紺谷)：この大会は、高校生男子のビーチバレーボールの全国大会です。厳しい予選を勝ち抜いた高校生が全国から集い、日本一の座を巡って熱戦を繰り広げています。</p> <p>(石塚さん)：阪南市でこの大会を行うようになったきっかけは何ですか。</p> <p>画像 3 大会の様子 (3)</p> <p>(紺谷)：阪南市は1997年に大阪府で開催された第52回国民体育大会(なみはや国体)でバレーボール競技の開催地となったり、「大阪マリンフェスティバル」のイベントの一環としてビーチバレーボール大会を開催したりと、以前から、バレーボールやビーチバレーボールとのつながりが強いまちでした。そんな中、ビーチバレーボールの全国大会を開催しようということで、この大会が2002年から始まったのですが、第1回目から開催地として阪南市が選ばれ、これまで17年にわたり開催しています。</p> <p>(石川)：7月～9月の阪南版スーパークールビズ期間には、私たちもPRポロシャツ</p> </td> </tr> </tbody> </table>	説明したいこと	<p>(石塚さん)：紺谷さん、「全日本ビーチバレージュニア男子選手権」とは、どのような大会ですか。</p> <p>画像 1 大会の様子 (1)</p> <p>画像 2 大会の様子 (2)</p> <p>(紺谷)：この大会は、高校生男子のビーチバレーボールの全国大会です。厳しい予選を勝ち抜いた高校生が全国から集い、日本一の座を巡って熱戦を繰り広げています。</p> <p>(石塚さん)：阪南市でこの大会を行うようになったきっかけは何ですか。</p> <p>画像 3 大会の様子 (3)</p> <p>(紺谷)：阪南市は1997年に大阪府で開催された第52回国民体育大会(なみはや国体)でバレーボール競技の開催地となったり、「大阪マリンフェスティバル」のイベントの一環としてビーチバレーボール大会を開催したりと、以前から、バレーボールやビーチバレーボールとのつながりが強いまちでした。そんな中、ビーチバレーボールの全国大会を開催しようということで、この大会が2002年から始まったのですが、第1回目から開催地として阪南市が選ばれ、これまで17年にわたり開催しています。</p> <p>(石川)：7月～9月の阪南版スーパークールビズ期間には、私たちもPRポロシャツ</p>
説明したいこと			
<p>(石塚さん)：紺谷さん、「全日本ビーチバレージュニア男子選手権」とは、どのような大会ですか。</p> <p>画像 1 大会の様子 (1)</p> <p>画像 2 大会の様子 (2)</p> <p>(紺谷)：この大会は、高校生男子のビーチバレーボールの全国大会です。厳しい予選を勝ち抜いた高校生が全国から集い、日本一の座を巡って熱戦を繰り広げています。</p> <p>(石塚さん)：阪南市でこの大会を行うようになったきっかけは何ですか。</p> <p>画像 3 大会の様子 (3)</p> <p>(紺谷)：阪南市は1997年に大阪府で開催された第52回国民体育大会(なみはや国体)でバレーボール競技の開催地となったり、「大阪マリンフェスティバル」のイベントの一環としてビーチバレーボール大会を開催したりと、以前から、バレーボールやビーチバレーボールとのつながりが強いまちでした。そんな中、ビーチバレーボールの全国大会を開催しようということで、この大会が2002年から始まったのですが、第1回目から開催地として阪南市が選ばれ、これまで17年にわたり開催しています。</p> <p>(石川)：7月～9月の阪南版スーパークールビズ期間には、私たちもPRポロシャツ</p>			

を着用して、大会を応援しています。ポロシャツの中には、ビーチバレーしているはなていがいるかも？

(石塚さん)：同じようなポロシャツを着た人が多いのは、皆さんでPRしていたからなんですね。ところで、紺谷さん、今年の大会は、いつ開催されますか。

画像 4 大会ポスターPDF

(紺谷)：今年は、8月9日に大会の開会式を文化センター大ホールで開催し、その翌日の10日から12日の3日間にかけて試合が繰り広げられます。ぜひ、熱い高校生たちの雄姿を生で観戦しに来てください。

(石塚さん)：この「全日本ビーチバレージュニア男子選手権」は、阪南市の共催事業になっていますが、どのような想いで大会に関わっていますか。

画像 5 大会の様子 (4)

(紺谷)：この大会が野球の甲子園と同じようにビーチバレーボール選手が目指す大きな目標となり、この大会の出場経験者の中からオリンピック代表が決まることを夢見て大会運営に取り組んでいます。また、選手たちに気持ち良く最高の状態でプレイしてもらいたいという思いで、大会会場であるぴちぴちビーチの清掃活動も毎年行っています。さらに、本大会は様々な関係団体様の協力のもと大会が開催されていますので、そういった意味では、SDGsの14番「海の豊かさを守ろう」、17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に該当すると思います。

(石塚さん)：この大会に出場する選手の方達には、どのようなことを期待しますか。

画像 6 大会の様子 (5)

(紺谷)：高校生を迎え入れる私たちは、この大会に参加する選手たちに、「いつか日本・世界を代表するスター選手になってもらいたい!」と願っています。この阪南市の大空の下、風や光を感じながら思う存分に自分たちのプレイを表現してもらいたいです。

(石塚さん)：今年も、ぴちぴちビーチで、熱い戦いが繰り広げられるに違いないですね。ぜひ、皆さんも応援にいらしてくださいね。

(石塚さん)：今年も、ぴちぴちビーチで、熱い戦いが繰り広げられるに違いないですね。ぜひ、皆さんも応援にいらしてくださいね。

そして、行政経営室の奥田さん、「FC 大阪コラボイベント」のご案内をお願いします。

(奥田) : はい。本日は、FC大阪さんとのコラボイベントについて、ご紹介に来ました。

来月8月4日(日) 10時からせんなん里海公園で「海を守ろう×サッカー教室」のダブルイベントを開催します。

まずは、せんなん里海公園の海岸を清掃して、阪南市の海岸の良好な景観及び環境を守る。また、その後のサッカー教室では、スポーツ振興及び健康増進を図りたいと考えています。

このイベントは、SDGsの3番「すべての人に健康と福祉を」、

11番「住み続けられるまちづくりを」、

14番「海の豊かさを守ろう」、

17番「パートナーシップで目標を達成しよう」に紐づいています。

(石川) : 環境のことも考えつつ、スポーツもできて、健康になるとは、素晴らしいイベントですね。参加するには、どうしたらよいですか。

画像 1 「海を守ろう×サッカー教室」PDF

(奥田) : 特に申込みは不要で、参加費も無料です。ただし、交通費等は各自の負担でお願いいたします。また、対象は小学生としています。

集合時間は9時45分。

集合場所はせんなん里海公園内の阪南臨5駐車場としています。

当日は、運動しやすい服装で、軍手、飲料、タオル等も忘れずにお持ちください。

内容については、阪南市のウェブサイトにも掲載していますので、ご覧いただければと思います。

画像 1 PDF 終了

(石塚さん) : ちなみにサッカー教室は、どなたに教えてもらえるのでしょうか。

(奥田) : そこは、もちろん、FC大阪の選手にお願いしています！

今回は、5名の選手に来ていただく予定です。

プロの技を目の前で見られるチャンスですので、是非皆さんご参加ください。

(石川) : ビーチバレーも、FC大阪コラボイベントも、夏の砂浜で行われます。

とても暑い季節ですので、くれぐれも熱中症予防の対策をお願いします。

みなさん、安全に、楽しく過ごしてくださいね。

(石塚さん)：まちの活力創造課の紺谷さん、行政経営室の奥田さん、本日はイベントのご案内ありがとうございました。

(石川)：次回の放送は、8月20日（火）正午 の予定です。

<まとめ>

(石塚さん)：今流れている番組は、放送終了後もアーカイブとしてご覧いただけます。ぜひ、お楽しみください。

本日も長時間視聴いただき、ありがとうございました。

それでは みなさん さよーならー